

2021年3月17日

報道関係者各位

一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム

格安プラン ahamo 利用における SP モードの Web コンテンツ

強制解約に反対します。

今般、我が国の国策として通信料金の低廉化が、関係各位のご尽力で実現されることは大変喜ばしいことと存じます。

一方で、ドコモユーザーが格安プラン ahamo に変更すると、SP モードの Web コンテンツが強制解約されるとの発表がありました。この突然の方針は、消費者及びコンテンツ事業者に、甚大な悪影響が発生すると考えられるため以下の理由から反対致します。

課題

- 消費者にとっては、同一通信事業者との単なるプラン変更との認識しかなく、適正な契約が強制的に解約されるとの認識がないため有効な同意を取得することが困難である。
- 消費者にとっては、デジタルコミックや書籍、音楽、静止画、動画などのコンテンツが強制解約されると、課金によって保持していた有償のポイントが消滅して経済的な損失となる。
- データサービスでは大事な思い出の写真等のデータが失われる。
- ファンクラブ等の会費が払えなくなり強制退会となる。
- 代替の課金手段はクレジットカードが想定されるが、若年層ユーザーは対応不能で強制解約を受け入れるしか選択肢がない。
- コンテンツ事業者にとっては、収益の減少となるだけでなく、コンテンツ解約にともなう経済的な損失、回復不能な思い出のデータ回復要望等のクレームが多発することが想定される。

要望

「SP モードから d 払い/ドコモ払いにコンテンツ契約を引き継ぐ仕組み」が構築されるまで、現状の SP モード課金の継続をお願いしたい。

Q&A

格安プランでは、コストダウンのため SP モード課金の廃止が必要では？

SP モード課金では、決済手数料がドコモに入るため、格安プランのためのコストダウン効果は考えられない。

消費者に、格安プランへの変更かコンテンツサービスの解約かという究極の選択を強いることで、国民の携帯電話料金の低廉化が進まないと考える。

他の通信事業者はどのような状況か？

格安プランを提供する3キャリア(ドコモ、au、ソフトバンク)について、広く代替の課金手段が提供されていないのはドコモのみである。(ソフトバンクについては、課金手段は提供されるが、引継機能が提供されていないため改善を求める。)

◆一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム(略称:MCF)

モバイルコンテンツ環境活性化のため、モバイルコンテンツ配信事業に関連する企業が参加する業界団体です。モバイルコンテンツ関連産業の健全な発展のため、消費者や関係団体等と円滑な関係を構築し社会との共存共栄を目指して、業界及び会員の活動をサポートしていくことをミッションとして活動しております。会員数はコンテンツプロバイダーを中心に80社(2021年3月現在)。

本リリースに関するお問い合わせ先

■一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム

■連絡担当者 岸原孝昌

東京都渋谷区恵比寿 4-4-5 第3伊藤ビル 603号室 〒150-0013

Tel:03-5449-6409 Fax:03-6456-2956

E-mail:info@mcf.or.jp URL:<https://www.mcf.or.jp/>

■電話での連絡可能時間帯 10:00~19:00